

# ● 中国の姉妹校「天津匯文中学校」について


- ①天津匯文中学校のホームページ日本語訳版
- ②姉妹校の歴史（天津匯文中学校の部分抜粋）
- ③学校便り「東宝見聞録」から、天津匯文中学校の関連記事を抜粋

## ① 天津匯文中学校のホームページ日本語訳版

鹿児島東高校の姉妹校の、「天津匯文中学校」のホームページが現在接続できない状態です。そのため中国語版ウィキペディアの記事をリンクしてありますが、その日本語訳を以下載せたいと思います。

## 天津フィウエン中学校

ウィキペディア

 「天津フィウエン中学校」は、この場所にリダイレクトされます。同じ名前の他の学校については、「[フィウエン中学校](#)」を参照してください。

1890年に設立された天津フィウエン中学校は、天津市で最も初期の学校の一つであり、現在は天津市平和区甘蘇路42号に位置しています。

### ディレクトリ [[隠蔽](#)]

- 1 [歴史](#)
- 2 [建物](#)
- 3 [校歌](#)
- 4 [有名な卒業生](#)
- 5 [外部リンク](#)
- 6 [参考文献](#)

### 履歴 [[編集](#)]

天津フィウエン中学校は、1890年にアメリカキリスト教教会「アメリカ・イスラエル・アメリカ協会」が主催した学校であり、学校名は「成美学堂」と呼び、1913年に「成美中学校」に改称されました。1923年に「天津フィウエン中学校」と名付されました。Hui Wen中学校は、宗教教育と英語教育に重点を置いたカリキュラムで、学校教育として「勤勉で誠実」でした。2000年、フィウエン中学校の住所は平和区のロンアン通り167番地にあるが、平和区教育委員会の決定により、フィウエン中学校は天津市第2南海中学校に統合され、天津市第2南海中学校は167号のロンアン通りにあるフィウエン中学校の跡地で建設を続けた。その後、平和区教育委員会は、浜江中学校、34中等学校、長征中学校の3校を合併し、天津市第2南海中学校の旧跡地である「フィウエン中学校」に改称した。

### 天津フィウエン中学校


#### アドレスです

天津市平和区甘蘇路42号

#### 詳細

型	公立学校
開始日	1890年
学校の訓練	勤勉で誠実で勇敢
学校の Web アドレス	天津フィウエン中学校 <a href="#">校印</a>



フィウエン中学校のメイン校舎 

## 建物 〔編集〕

現在、天津フィウエン中学校で使用される**平和区**甘蘇路40のキャンパスは、旧**天津日コンディジズ松島女子商業学校**の元のサイトです。松島女子ビジネススクールは、1936年に天津の日本人駐在員のために建設された「天津松島日本高等女子学校」とも呼ばれています。1946年、天津松島日本女子学校は南海中学校女性部、1952年は女子7校、1958年は天津医科大学附属中学校、1962年は南海女子中学、1968年は東洋紅中学校、1985年は第2南海中学校、2001年には天津フィウエン中学校に改置され、現在は重要な保護階層の歴史的建造物である[1]。

## 校歌 〔編集〕

フィウエン学校、ジンメン教育の夜明け、学習スタイルと準備グループの組み合わせ、日久美彰;フェン・ヒョン・ウェイ・シウ、ムー・ゼ・イン・タレント、社会の柱。智徳は体が強く、フィウエンスクールの強み。祖国の栄光、ヤン・ワンシの無フロンティア、私の兄弟、私たちの学校の訓練、勤勉、質素、誠実さ、勇気、自己強化、長い保護、日進の炎、慎重に香りを怠らしてください。民衆の文明、社会の進化、教育の基礎は、私の学校です。

## 有名な卒業生 〔編集〕

- [ファン・ジン](#)
- [馬三立](#)
- [ウー・ダピン](#)
- [リー・ゲンピン](#)
- [ジョルジュ・ヒドゥン](#)

## 外部リンク 〔編集〕

- [天津フィウエン中学校](#)

## 参考文献 〔編集〕

- ↑ 天津市人民政府は2005年8月31日に発表した

### 天津の歴史的建造物 松島女子ビジネススクール



場所 [天津市平和区](#)

時代 1920年

グレード 重点的な保護

番号 0120003

公開 2005年8月31日

調・論・編	天津市の主要中学校		[非表示にします]
	天津市教育委員会		
市教委の直属	市の5つの家	天津南海中学校・天津ヤオワ中学校・天津市第一中学校・天津市新華中学校・天津実験中等学校(天津師範大学附属中学校)	
	新しい学校が設立された	天津天津中学校・天津市復興中学校・天津市ルイジン中学校	
高等教育機関の子会社	天津外国語大学附属外国語学校(天津外国語学校)		
市内の6つの地区	平和地帯の属	天津第20中学校・第2 南海中学校・天津市第21中学校・天津市第55中学校・天津市フィウエン中学校	
	河東区の属	天津第7中学校・天津市第45中学校・天津市第1・2中学校・天津市第54中学校・天津鉄工場第2中学校 <sup>河東区天鉄教育センター</sup>	
	河西区の属	天津第42中学校・天津第41中学校(天津外国語大学第2付属中等学校)・天津市第4中学校・北京師範大学天津附属中学校・天津海河中学校	
	南海区の属	天津大学附属中学校・天津市崇化中学校・南海大学附属中学校・天津市第25中学校・天津市第9中学校・天津第43中学校	
	河北区の属	天津第二中学校・天津市第14中学校・天津市第57中学校・天津ロータリー中学校	
	レッドブリッジの属	天津第3中学校・天津市第5中学校・天津民族中等学校・河北工業大学附属紅橋中学校(天津第51中学校)	

マリーナ新区に属する	タンジュン地区	天津市ピンハイ新区のタンジュン第一中学校・ 天津市滨海新区のタンジュン紫雲中学校・ 天津市ピンハイ新区のタン・ピンハイ・オイル・ファースト・スクール
	漢江地方	天津市ピンハイ新区の漢江第一中学校
	ダナン地域	天津市ピンハイ新区ダナン第一中学校
	油田地域	天津市ピンハイ新区ダナン油田実験中学校
	開発ゾーン	天津経済技術開発区第1中学校
鳥取県に属する	天津第100中学校	
西青区の属	天津のヤン・リュウチン第一中学校	
津南区に属する	天津塩水第一中学校	
北チェン地区に属する	天津第47中学校	
武清区の属	天津市武清区の陽村第一中学校	
宝塚区の属	天津市宝安区第一中学校	
静海区の属	天津市静海区第一中学校	
寧河地域に属する	天津市寧河区のルタイ第一中学校	
長州区の属	天津市長州区第一中学校	

## ②姉妹校の歴史（天津匯文中学校の部分抜粋）

本校HP「本校の特色」中の、「姉妹校の歴史」から一部訂正して抜粋

- 平成 10（1998）年 8月 天津第 34 中学を公式訪問
- 平成 10（1998）年 10月 天津第 34 中学を招待 →姉妹盟約締結
- 平成 11（1999）年 5月 天津第 34 中学から招待を受け、公式訪問
- 平成 11（1999）年 11月 天津第 34 中学を訪問
- 平成 12（2000）年 10月 天津第 34 中学から招待を受け、公式訪問
- 平成 16（2004）年 中国側の都合により中止
- このころ、天津第 34 中学が、匯文中学に名称を変更
- 平成 17（2005）年 5月 匯文中学を公式訪問
- 平成 19（2007）年 5月 匯文中学を公式訪問
- 平成 20（2008）年 10月 匯文中学を招待
- 平成 21（2009）年 5月 匯文中学を公式訪問
- 平成 23（2011）年 5月 匯文中学を公式訪問（この年までホームスティあり）
- 平成 24（2013）年 5月 匯文中学を公式訪問（この年まで毎年実施、今後は 1 年おきに実施）
- 平成 26（2015）年 4月 匯文中学を公式訪問
- 平成 28（2017）年 4月 匯文中学を公式訪問
- 平成 30（2018）年 10月 鹿児島東高校創立 70 周年記念「四カ国サミット」開催  
匯文中学ほか韓国・タイの生徒来校 →姉妹盟約更新
- 令和 元（2019）年 10月 匯文中学を公式訪問

### ③学校便り「東宝見聞録」から、天津匯文中学校の関連記事を抜粋

・「東宝見聞録」第89号（H23.5.27 発行）より

・「東宝見聞録」第112号（H24.6.8 発行）より

## 中国短期派遣から帰国！ (5月18日)



中国に到着した夜は、かなり不安な様子だったのですが、土・日をホストファミリーと過ごして、月曜日の朝、カイ文中学に登校した時は、その不安げな表情は消えて、ホストシスターとすっかり打ち解けた様子で教室での体験授業に臨むことができました。最後はホストファミリーと涙の別れと再会を約束しました。短期派遣留学に参加してみて初めてわかることがあります。1・2年生の皆さん、来年は是非この喜びを味わって下さい。(引率した新山教頭先生、湯之前先生より)

## 中国短期派遣終わる！

5/19～23 にかけて行われました。今年からホームステイがなくなり、生徒達はカイ文中学校の寮に3泊しました。学生食堂で中国式の朝食を食べたり、カイ文中の生徒とクラス単位の交流を行いました。交流の中で本校の生徒達が中国語で自己紹介をした後、東高校の校歌を披露しました。

昨年度までは、毎年行われてきた中国短期派遣ですが、今年度からは1年おきの開催となります。次回の中国への派遣は、再来年の予定です。(国際交流係より)



・「東宝見聞録」第149号（H26.5.2 発行）より

## 中国短期派遣を終えて！



本校の特色ある行事「中国短期派遣」が、4/19(土)～23(水)にかけて行われました。姉妹校である中国天津市の匯文中学校との交流を行いました。今年度は、厳しい校内選考の結果選ばれた生徒4人と引率職員2人の参加でした。参加した生徒の感想をもとに振り返ってみたいと思います。

4/20(日)・・・「今日は、一日中ホストファミリーと天津市内を観光しました。まだ慣れないせいもあり、一日中とても不安だったけど、ホストファミリーの皆さんと楽しく過ごすことができました。時間が過ぎるのがあっという間でした。」



4/21(月)・・・「午前中は、体験授業を受けました。クラスのみんながとても優しくすごく居やすかったです。写真もいっぱい撮って、握手もして・・・(笑)・・・今日一日スターになった気分でした。」

4/22(火)・・・「万里の長城に行きました。すごく人が多くて驚

きました。景色は最高でした。また、地下鉄を利用して天安門広場に行きました。よくニュースで見る景色がありました。」「夕飯のシュウマイもたくさん種類があって、全部おいしかったです。帰るのはいい



やけど、日本食が食べたいなと思いました。4泊5日、充実していて楽しかったです。」

一昨年度までは、毎年行われてきた中国短期派遣ですが、現在では1年おきの開催です。次回の中国への派遣は、再来年の予定です。



(国際交流係より)

家庭訪問・三者面談期間やゴールデンウィークも終わり、1年生にとっては高校に入って初めての中間考査も終わりました。結果を反省し次回につなげて欲しいと思います。今回は、4月22日～27日に行われた中国短期派遣の報告を中心に取り上げます。

## 中国短期派遣報告

中国短期派遣 in 天津【前編】(4月22日～27日)



5名の生徒と引率3名を乗せた飛行機は、予定より20分も早く飛び立った。経由地の青島空港では、タラップを降りると、本来禁止されている飛行場内での記念撮影を空港の係員に撮ってもらうことができた。

まずは緊張の入国審査。搭乗ゲートに着くと時間があつたので生徒達はショップに入り物価を確かめていた。



ふと耳を澄ますとすでに搭乗が始まっていた。慌てて生徒達を探し、ゲートを通過させ、北京へ向け離陸した。

空港では匯文(カイブン)中の先生方に迎えられ、中国の地に足を下ろしたときもう暗くなっていた。学校のマイクロバスで一路天津へと向かった。初めて見る中国の地が暗くて見えなかったのは少し生徒は残念だっただろう。しかし、夕食にもらった中国版ケンタッキーのチキンバーガーが独特なピリ辛味でおいしかった。



日本時間の10時を過ぎた頃、トイレ休憩も兼ねて高速道路サービスエリアのコンビニに入った。生徒たちの初めての中国での買い物である。恐る恐る

学校で習った中国語で買い物をしていた。

3時間ほど車に揺られ、やっと匯文中に着いたのは日本時間の夜11時過ぎで、校長先生や寮担当の先生方に迎えて頂

いた。生徒の宿泊するのは元々、職員用の寮で二人部屋だった。緊張の1日目が終わった。

二日目の朝8時半頃に寮の2階の部屋に入ると各生徒たちは期待にあふれた表情だった。これからホスト役の中国の生徒らとそれぞれ天津市内観光である。学校で学んだ中国語が発揮される時だった。後で



聞いた話では、中国語・英語・日本語・ゼスチャーなど、あらゆる方法でコミュニケーションをとったらしい。



三日目は、匯文中の校内を案内してもらった。中学生から高校生まで千人近くの生徒が学んでいる大きな学校に見えたが、中国ではそれほどでもないらしい。歴史資料室や図書室を見学してから、生徒は中国の生徒と一緒に音楽の授業を受けた。生徒たちは、初めに東高校の校歌を歌い、大きな拍手で授業に迎えられた。その後、生徒たちは



地理の授業を参観した。言葉は分からなかったが貿易に関する内容で楽しかったようである。



午後は、生徒らと引率者で天津市内の古文化街の散策と買い物をした。中国の古い町並みが残っている観光地である。多くのお土産屋さんがあり声をかけ



られた。生徒たちも片言の中国語で値切りながら買い物ができたようで感動していた。中国の旅の前半が終わろうとしていた。(参加生徒女子4名男子1名、引率3名)

# 中国短期派遣報告

## 中国短期派遣 in 北京【後半】(4月22日～27日)



中国滞在三日目は、天津最後の日であった。午後から匯文(カイブン)中の先生に案内され、大都市天津



の市内観光をした。そしてその夜は匯文中の生徒・先生方が学校の食堂を利用し、送別会を開いてくれた。日・中・英語、そしてゼスチャーを交えながら、初めての北京ダックを含む中華料理を楽しんだ。

夕食の中で、片言の中国語で、匯文中の校長先生たちにお礼を言う東高校の生徒達や、逆に、片言の日本語で日本人教師にお礼の挨拶をする匯文中生徒らの姿を見るのは感動的だった。生徒達は、制服交換しての記念撮影をして天津での最後の夜を終えた。

滞在4日目早朝、匯文中のバスで北京へ向かった。北京郊外の「明十三陵」と「万里の長城」が目的地である。ともに中国の皇帝の強大な権力を示す史跡である。博物館内の皇帝の衣服は豪華絢爛で、王妃の履いていた纏足(てんそく)用の靴は驚きであった。



この日のハイライトは万里の長城であった。延々と続く城壁の



長大さに驚かされた。急な石造りの坂道を上りながら、当時の中国に思いをさせた。生徒は元気に先を歩き、絶景を見つけては、匯文中の先生

達をつかまえて、記念写真を撮っていた。中国の先生方も、人なつこい生徒達に嬉しそうな表情をしていた。

その日の夜は、匯文中の先生方と北京市内のレストランで最後の夕食をとみにした。1週間近くともに過ごす、国籍を超えたつながりが、生徒達と中国の先生方の間にできたような気がする。次の日の朝、中国最後の日に、北京空港までわざわざ見送りに来てくれた先生方と名残惜しそうに握手をしている生徒達の姿を見ると、今回の中国派遣が大成功であったことを確信させてくれた。



- ・なお、本校HP「本校の特色」中の、「姉妹校訪問レポート」もあわせてご覧ください。令和元年度については、「令和元年度中国姉妹校派遣レポート」を参照してください。

- ・天津匯文中学  
所在地  
(グーグルマップより)

